

第48回群馬学連続シンポジウム

〈シリーズ・群馬の災害文化Ⅲ〉

災害史を “する”人々

— 異分野交流と市民参加 —

2025
12.20 ^土
13:00 - 16:00

会場

群馬県立女子大学 講堂

参加費

500円 (大学生以下無料)

定員

300名

*事前申し込みが必要です。(裏面参照)

参加
特典

本シンポジウムの記録集となる
『地域学ブックレット 群馬の歴史と
文化遺産 Vol.18』(2026年度刊行予定)
を刊行次第送付します。

*配付方法は別途ご案内します。

第1部 | シンポジウム | 13:10-14:45

歴史災害の記憶の継承を考える

中央大学文学部 教授 西川 広平

みんなで翻刻：

オンライン市民参加による災害史料翻刻

国立歴史民俗博物館 准教授 橋本 雄太

浅間山北麓ジオパークにおける

市民参加の災害史実践

浅間山北麓ジオパーク 専門員 古川 広樹

第2部 | パネルディスカッション | 15:00-16:00

異分野交流と市民参加で“する”災害文化のこれから

パネリスト …… 西川 広平 橋本 雄太 古川 広樹

コーディネーター …… 築瀬 大輔

お申し込みはこちら

2025(令和7)年12月18日(木)

までにお申し込みください。

事前申し込み必須



申し込みフォーム

お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係 〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

電話 ● 0270-65-8511 (大学代表) 受付時間 ● 平日9:00~12:00、13:00~17:00

E-mail ● gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp WEB ● <https://www.gpwu.ac.jp/>



大学ウェブサイト

《主催》群馬県立女子大学

《後援》玉村町 上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA 群馬県地域文化研究協議会 群馬歴史民俗研究会 群馬歴史資料継承ネットワーク 〈ぐんま史料ネット〉

災害史を “する”人々

— 異分野交流と市民参加 —

歴史知識の創造と共有には二つの立場がある。ひとつは、歴史を研究し叙述する専門の人たち（歴史学者など）の比較的能動的な立場である。もうひとつは、専門の人たちが生産した学術成果を活用して歴史を学習する人たち（市民・学生など）で、どちらかという受動的な立場である。このような関係性の上に展開する歴史実践をアカデミックヒストリーという。これに対して、市民・学生さえも能動的な側に引き入れ、ニュートラルな関係性の中で歴史知識の構築と共有をはかろうという歴史実践がある。これをパブリックヒストリーという。これまで歴史家だけが占有してきた「歴史を“する”」という営為を、非歴史家や市民に開放し、みなが歴史叙述の主体者となることを目指した取り組みである。

近年、地域の災害をテーマに、あるいは災害体験を契機に、パブリックに「災害史を“する”」ことが各地で見られるようになってきた。例えば、災害体験の記録化におけるオーラルヒストリーの実践や、被災地での大字誌活動における研究者と市民の協働などがある。さらに、資料レスキュー活動における学生を主体とした活動もあれば、博物館やジオパークを活用した実践、情報技術の応用

なども広い意味での「災害史を“する”」ことに繋がっている場合がある。こうして、研究者と市民・学生の手によって、災害文化が各地に芽生え、根付き、花を咲かせつつある。

こうした動向を踏まえ、「シリーズ・群馬の災害文化」の締めくりとなる本シンポジウムでは、様々なステージで、独自の距離感をもって「災害史を“する”」、多分野の方に集まっていただき、異分野交流と市民参加の視点から災害史実践について意見交換を行う。そして、災害文化の新たな方向性を展望するものである。

講師プロフィール

西川 広平 にしかわ こうへい

Kohei Nishikawa

中央大学文学部・教授
1974年 神奈川県生まれ
中央大学大学院文学研究科博士後期課程修了
日本中世史 博士（史学）

山梨県立博物館・山梨県立富士山世界遺産センター学芸員、中央大学文学部准教授などを経て、2022年より現職。
著書に『中近世の資源と災害』（吉川弘文館、2023年）、『武田一族の中世』（吉川弘文館、2023年）、『中世後期の開発・環境と地域社会』（高志書院、2012年）、編著に『シリーズ・中世関東武士の研究 第32巻 甲斐源氏一族』（戎光祥出版、2021年）、『甲斐源氏 武士団のネットワークと由緒』（戎光祥出版、2015年）など
甲府市文化財調査審議会委員、八王子市文化財保護審議会委員

橋本 雄太 はしもと ゆうた

Yuta Hashimoto

国立歴史民俗博物館・准教授
1984年 東京都生まれ
京都大学大学院文学研究科博士後期課程中退
人文情報学 博士（文学）

国立歴史民俗博物館テニユアトラック助教を経て2022年より現職。
橋本雄太ほか「“大家一起来翻刻”：基于协作学习的前近代日语史料众包转写平台」（『数字人文研究』5(2)、2025年）、橋本雄太「歴史資料のオープンデータ化とシチズンサイエンスの可能性」（『歴史学研究』1028号、2022年）など
情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会幹事

古川 広樹 ふるかわ ひろき

Hiroki Furukawa

浅間山北麓ジオパーク・専門員
1971年 東京都生まれ
玉川大学文学部教育学科中退

2011年東日本大震災を機に自然環境分野に携わる。国立公園で自然を解説する傍ら、浅間山北麓ジオパークの立ち上げに参加。2020年から現職。
火山と人間の共生をテーマに、浅間山天明噴火の語り継ぎや活火山と高原リゾートの関係などを研究。火山がもたらす恵みと災いについての普及啓発や学習支援、自然体験の促進などに取り組む。共編著・日本地質学会編『大地と人の物語』（創元社、2024年）、共著『烏帽子火山群ハンドブック』（環境省上信越高原国立公園管理事務所、2022年）
上毛新聞オピニオン委員（2023年）

申し込み方法（事前申し込みが必要です）

**2025(令和7)年12月18日(木)までに
次のいずれかの方法でお申し込みください。**

① インターネット

大学ウェブサイトまたは下の二次元コードから参加申し込みフォームにアクセスし、氏名・住所・メールアドレス等を入力して参加者登録を行ってください。



申し込みフォーム

② メール

「第48回群馬学連続シンポジウムに参加希望」、「氏名」、「住所」、「電話番号」を明記して以下のアドレスまで送信してください。

E-mail

gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp
(群馬県立女子大学事務局連携推進係あて)



書籍展示販売

会場にて、出演者著書、関連書籍の展示販売を行います。

協力：戸田書店様名店

イベントメールリストに 登録されます

インターネットまたはメールでお申し込みをされると、群馬学センターイベントメールリストに登録され、群馬県立女子大学や群馬学センターまたは後援・協賛団体等が主催する講演会・シンポジウムなどの情報をいち早く受け取ることができます。

●お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係 〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

電話 ● 0270-65-8511（大学代表） 受付時間 ● 平日9:00～12:00、13:00～17:00

E-mail ● gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp WEB ● <https://www.gpwu.ac.jp/>



大学ウェブサイト